

2. 保全団体の活動紹介

八王子市内では、環境市民会議をはじめ、多くの団体が地域で環境保全活動を展開しています。こうした地域に根ざした様々な活動が力となり、望ましい環境像の実現に向かっていきます。

■ 宇津貫みどりの会

1. 会の概要

宇津貫みどりの会は、平成3年以来、今ある自然を少しでも守りたいと「八王子みなみ野宇津貫緑地」を活動フィールドとし、植物観察や雑木林の手入れを活動の中心に稲作（古代米）、野鳥カウント、地域の方々との協働と少しずつ活動の幅を広げています。

2. 20年度の主な活動内容



宇津貫緑地 ホタル沢での保全活動

(1) 里山の保全活動

篠竹・下草刈り、腐葉土づくり、間伐（椎茸作り）、実生苗の育成、山道の補修等を原則月2回実施、1月には会員対象にチェーンソー講習会を行いました。

冬には、雑木林を侵食している真竹の伐採を重点的に行いました。

(2) 植物観察・調査

宇津貫緑地の植物観察を9回実施し、5月には「ヤマツツジ」の開花調査を実施しました。

(3) 野鳥カウント

台・只沼地域の野鳥を原則月1回カウント、7回実施しました。

(4) 地域の風習の伝承

君田小サタデースクールで親子を対象に「月見だんご作り」を開催、12月には注連縄づくりを実施しました。

(5) 他団体との協働

宇津貫緑地「鉄道沿線森作り」の植樹祭への協力、エコひろばの依頼を受け「兵衛川源流と谷戸めぐり」の講座の開催、八王子市協働推進課の依頼で「地域体験講座」の開催、宇津貫兵衛町会の里山見学の案内と工作教室を実施しました。

「ホームページ <http://www.geocities.jp/utunukimidorinokai/>」

■ エコカー普及日本一・八王子を目指す市民の会



エコカーフェスタ八王子

エコカーフェスタ八王子は、緑豊かな自然に育まれた八王子の環境保全事業の一環として、14年に「東京八王子高尾ライオンズクラブ」が創立10周年の記念事業として、市の協力を仰ぎ、自動車各メーカー参加のもとに開催しました。

その後、各方面からエコカーフェスタの継続を、また、当該事業をライオンズクラブという一団体の運営から、市内の官・民・業の各分野が大同団結し執り行うべきではないかという意見も寄せられ、協議を重ねた結果、会長に「八

王子町会自治会連合会」会長が、名誉会長に市長、相談役に市議会議長、商工会議所会頭、法人会会長が就任、名実ともに市民が中心となり、官・業がバックアップする「エコカー普及日本一・八王子をめざす市民の会」を運営母体として設立しました。

当会の目的は、「環境保全の重要性を広く伝えること」にあり、エコカーフェスタに市内の自動車販売店、タイヤ販売店、自動車整備振興会、運輸業者に出席いただき、市内により多くの最新のエコカーを普及させ、エコタイヤの普及や整備不良車の撲滅を通じ、市内の空気清浄化をはかることです。

20年でエコカーフェスタは7回を重ねますが、今後はクリーンエネルギー動力に関する研究をしている大学、高等専門学校、高等学校等にも働きかけて参加いただき、官・民・業に「学」を加えた、環境に関する真の大同団結をめざして参ります。

■ 八王子に清流を取り戻す市民の会

1. 会の概要

八王子市は、浅川と谷池川流域が東京都から「生活排水対策重点地域」に指定されたことを受けて、平成9年5月に「八王子市生活排水対策推進計画」を策定して、10年11月に市民と行政による「八王子に清流を取り戻す市民の会」を設立しました。

2. 20年度の主な活動内容

(1) 生活排水対策モデル地区（武分方町1丁目町会・川町町会）活動（6ヶ月間）

ア. 生活排水対策物品の配布（10月）

イ. 川の清掃デーの野堀川清掃に参加（9月）

ウ. 元八王子市民センター文化祭に出展（11月）

エ. 大沢川と野堀川の水質調査（2月）等を行いました。

(2) 環境フェスティバル（6月）と暮らしの見直し展（2月）に出展し、生活排水対策の実践を呼びかけました。

(3) 小学生への環境学習を、柵田小学校、東浅川小学校（2回）、元八王子東小学校と浅川小学校（3回）で行いました。

(4) 八王子浅川子ども水辺協議会の「水辺環境教室」（9月）と「浅川の上流を見に行こう」（9月）に参加しました。

(5) 全国水質調査は西部環境市民会議と分担して、大沢川と野堀川を調べました。（6月）〈汚すま
い川は飲む水使う水〉



小学校での環境学習

■ 多摩丘陵の自然を守る会

1. 会の概要

当会は昭和57年に発足しました。緑豊かな多摩丘陵に多摩ニュータウン開発などが続き、自然が失われていくのを目の当たりにして、関係当局に要望書を提出し、話し合いを続けてきました。八王子市由木に残された貴重な自然を次世代に残そうと活動しています。

2. 20年度の主な活動

(1) 自然観察

ア. 自然観察会

春(4月)、秋(11月)に開催し、多くの市民に水と緑が循環する里山の姿を伝えました。東部(由木)環境市民会議や八王子市自然体験講座に協力しました。

イ. 植物観察

毎月、由木地区を中心に多摩丘陵を歩き、植物の学習や希少植物生息地の確認、丘陵、町の変化を見ています。

(2) 宮嶽谷戸里山保全活動

ア. 生活様式の変化で雑木林や田んぼが放置され、開発の不安が常にあった宮嶽谷戸に湿地と里山の生き物の復活を願い、谷戸田で不耕起水稲栽培を続けています。

イ. 宮嶽谷戸の植物調査を行い「宮嶽谷戸の植物目録(中間報告)」を作成しました。谷戸の重要性を訴えるため東京都や八王子市に提出しました。

ウ. 東京都、八王子市と里山保全に関わっている団体が里山保全指定に向けて活動する連絡会と保全作業に参加しました。

21年3月に東京都の「里山保全地域」指定を受けました。また東京都立平山城址公園の拡大により整備が開始され、宮嶽谷戸の中心部分は公有化されました。

3. 情報提供

(1) 神代植物園絶滅危惧植物保全調査

(2) 東京都の保護上重要な野生生物種(RDB)

由木地区を中心に会で観察した種を報告しました。

4. 会報 4月(再刊号)、10月(2号)発行しました。



田植えの様子